

『まえがき』

彦根市教育委員会 教育長 善住 喜太郎

彦根市民文芸作品入選集も、今回で五十四回目の発刊を迎えることとなりました。

このように長きにわたり続けられてこられましたのも、本市はもとより、近隣の市町から多数ご応募をいただいた皆様の創作への熱意と意欲のたまものであると深く感謝申し上げます。

近年、応募者、応募点数が減少傾向にあり、若い世代への文芸の普及も課題となっている中、今年は昨年より多く作品が寄せられましたことを大変嬉しく感じております。どの部門においても、一つの作品を創作することは簡単なことではなく、ましてや作品を出品するとなると、何度も推敲が必要となり、出品者の皆様は多くの時間を費やされたことと思います。

今年の作品を拝見しておりますと、どの作品も表現力に富み、言葉も豊かで、日本語の美しさを改めて感じ取ることができました。なかには、出品者の方の人生や生活を題材とした作品もあり、一読者として楽しみながら作品を読ませていただきました。

ご存知のとおり、この市民文芸作品の事業は、皆様からの出品で成り立っております。ご応募をいただきました皆様方には、ぜひ今後もし引き続き多くの文芸作品を創作いただきますとともに、ご家族、ご友人などに文芸の魅力や楽しさを広めていただき、文芸のさらなる普及にご協力をいただきますようお願い申し上げます。

この入選集には、厳しい審査を経て選ばれた、数々の素晴らしい作品が掲載されております。この入選集が、読者の皆様の文芸への興味をより高め、今後の創作活動、ひいては彦根市民文芸作品の応募につながるものとなれば幸いと感じております。

最後になりましたが、多数の作品をお寄せいただきました出品者の皆様と、短い時間の中で応募作品を一つひとつ入念に審査いただきました選者の皆様からお礼を申し上げ、発刊に寄せる言葉とさせていただきます。

平成三十年七月